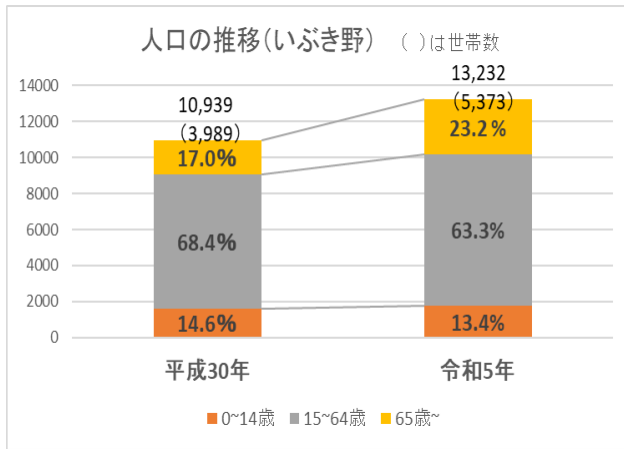


いぶき野校区

地域別人口



基礎データ

組織・人的資源	町会自治会数	9
	校区社協役員数	15
	校区社協ボランティア数	41
	民生委員・児童委員数	14
	老人クラブ会員数	147
	いきいき体操数	5
	おたがいさまサポーター数	18
	高齢者見守り協力事業所数	6
対象者数	子ども食堂(子どもの居場所)数	0
	自主防災組織の有無	有
	ふれあい訪問利用者数	0
	誕生月訪問利用者数	119
	避難行動要支援者登録数	78

ふくしアンケート結果ランキング(抜粋)

こんなまちだといいな	
1.買物が便利なまち	
2.困りごとの相談窓口がわかりやすいまち	
2.住民同士のまとまりや助け合いが多いまち	
こんな場所があったらいいな	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.高齢者の経験や強みを生かせる場所	1.自由に使える友だちとのたまり場所
2.子育てを応援してくれる場所	2.雨の日でも遊べる場所
3.放課後に保護者が帰宅するまで、安全に子どもが過ごせる居場所	3.静かに宿題・勉強ができる場所
	3.いろいろな遊び道具があって自由に遊べるしせつ
興味があるボランティア活動	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.高齢者の地域での見守り訪問	1.年下の子どもの遊び相手をしたり面倒をみる
2.子どもの居場所づくり	2.赤ちゃんや小学校に入る前の子どもの世話をする
3.災害ボランティア	3.年下の子どもに勉強を教えたり話し相手になる

地域での話し合い(ワークショップ)での意見

- ❖ コロナ禍での数年間は、話し合いの会議をしたくてもできなかった。コロナもおさまってきたので、みんなでいぶき野のことを話し合い、目標に向かって活動に取り組んでいきたい。

住み続けたい つながいがある 明るい豊かな街

私たちの重点取り組み

重点取り組み①

【目 標】 笑顔でつながる街づくり

【具体的な取り組み】

- 明るいあいさつを広めていく
- 困った時の相談窓口の情報を届ける
- 朝・夕の散歩時の見守り活動など、ライフスタイルに見守りを取り入れる

重点取り組み②

【目 標】 災害時に困らない街づくり

【具体的な取り組み】

- 非常食等の備蓄を各家庭で取り組めるようにする
- 防災訓練を定期的に行い、習慣になるまで続ける
- 防災マニュアルから学び、活用していく

重点取り組み③

【目 的】 人々の交流が増える街づくり

【具体的な取り組み】

- 子どもや高齢者が一緒に集えるように集える場を考えていく
- 身近な集いの場の開催情報を周知していく
- 既存の行事にプラスアルファの内容を考えて、多くの人が交流できるようにする



いぶき野校区社会福祉協議会

いぶき野校区の活動テーマ

住み続けたい つながりがある 明るい豊かな街

重点取組み①

笑顔でつながるまちづくり

いぶき野校区では、毎朝の見守り運動や夜間パトロールを続けており地域の人たちが笑顔でつながり、見守り合える地域づくりを進めることができました。



重点取組み②

災害時に困らないまちづくり

年1回の防災講習やAED訓練、民生委員・児童委員による炊き出しなどの複合的な防災訓練を令和6年度も行うことができ、防災研修にも行くことができました。



重点取組み③

人々の交流が増えるまちづくり

子どもの居場所ワークショップを2回開催し、地域の関係団体が集い、情報共有・意見交換をすることができました。ワークショップの中では居場所のボランティアと遊びに来る子どもたちと世代間交流をしたり、続けていくことによってお互いが顔見知りの関係にもなるなどの意見が挙がりました。また、昔あそびや小学校の福祉体験も実施し、人々の交流を増やすことができました。

ワークショップ



令和7年度は…



令和6年度の子どもの居場所ワークショップでの話し合いと、協議の場を通していぶき野校区で新たに子どもの居場所が立ち上がりました。

また、小学校の福祉教育では福祉体験学習を令和7年度も行い、加えて地域の人と防災ゲームを行い、防災の知識を深めると同時に多世代交流を実施するといった福祉教育も実施しました。